令和７年度　美郷町立美郷南学園　学校評価アンケート結果（４段階評価）

		評価項目	学校運営協議会委員	保護者	評価項目	子ども	評価項目	教職員
学校経営ビジョン・学校運営に関すること	1	学校は、保護者や地域の願いに応える教育活動を積極的に行っている。	3.50	3.48				
	2	学校は、学校行事や参観日等で、保護者や地域住民と意見の交流ができる機会を適切に設けている。	3.63	3.46				
	3	学校は、ホームページの更新、地域での作品展示やマスコミ等を利用した広報活動に積極的に取り組んでいる。	3.00	3.31				
	4	学校は、各種の便りや電話連絡、学級懇談会・家庭訪問等を通して、子どもの様子を伝えるなど家庭と連携を図っている。	3.63	3.57				
	5	学校や、幼小中一貫教育のよさを生かした指導体制作りを行っている。	3.75	3.48				
	6	学校は、地域とともにある学校づくりの推進に努め、幼小中のつながりを生かしたキャリア教育や美郷科の充実に努めている。	3.88	3.44				
	7	学校は、幼小中のつながりを意識した「ひなたの学び」と「個別最適な学び」の充実を図り、学力向上に努めている。	3.38	3.39	授業では、なぜ？どうして？と問いをもち、友達と話し合いながら、学びを深めることができていますか。	3.29	あなたは、一人一人が問いをもち、仲間と学び合って深く考える力を育む授業を実践していますか。	2.76
	8	学校は、ＩＣＴ機器の効果的な活用と読書指導充実を図っている。	3.50	3.48				
	9	学校は、縦の人間関係を生かしたファミリー班活動や児童生徒活動の活性化を図り、豊かな心を育んでいる。	3.75	3.56	友達と協力し、学級や学校がよりよくなるために活動をすることができていますか。	3.34	南学園は、学園生が友達と協力し、学級や学校がよりよくなるために進んで活動できるように指導・支援を行っていると思いますか。	3.15
	10	学校は、あいさつや命を大切にする取組の充実を図っている。	3.25	3.28				
	11	学校は、特別支援教育の充実を図り、きめ細やかな指導を行っている。	3.50	3.48				
	12	学校は、スクールスポーツプランを生かし、一貫教育のよさを生かした取組の充実を図っている。	3.13	3.31				
	13	学校は、家庭と連携した生活習慣の取組、食育や防災・安全教育など、生命や健康について学ぶ学習活動の充実を図っている。	3.38	3.31	弁当の日に進んで取り組んでいますか。	3.48	南学園は、食育指導や弁当の日の取組を進んで行っていると思いますか。	3.35
					自分と友達がけがや事故がないように、気を付けて生活していますか。	3.65	南学園は、学園生が安全な登下校や危険から身を守る態度の育成のために適切な手立てを取り、働きかけを行っていると思いますか。	3.04

【学校としての取組と反省】

○地区懇談会では、今年も多くの地域の方に参加していただき、積極的に意見交換することができた。また、４地区での秋の例大祭では、学園生や教職員の参加も多く盛り上がった。今年度から師走祭りの「韓国にまつわる舞踊の披露」にて禎嘉王を披露し地域の方々に喜ばれた。これからも地域に根ざした学校づくりを展開していきたい。

○学校運営協議会委員の方々と教職員で「15歳で南郷を離れる学園生に身につけさせたい力」について協議する場を２回設けることができた。

○児童生徒会が中心となって花壇の世話や異学年で仲良く交流したり弁当の日にファミリー班ごとに弁当を食べたり、ファミリー班活動を積極的に行うことができた。

○広報活動については、学園だより「どんタロ」を毎月発行し、学園内の様子を積極的に発信できた。また、ＨＰでも情報発信することができた。

○主題研において、「自ら問いをもち、解決しようとする態度を育成する授業実践」をテーマとして、問いの解決まで視野を広げ、「ひなたの学び」の研究をさらに深めることができた。また、職員間での相互授業参観を年３回実施しながら授業改善や学力向上に努めた。今後オープンスクール等で保護者や地域の方に授業の様子等見ていただく機会を設定していきたい。

○スクールスポーツプランについてはHPやマチコミメールで、男女ともに全種目でＴスコア５０以上を目指すことを目標に、昼休みの外遊びを推奨し、他学年との交流を図りながら、運動する機会を設けることを周知できた。

○健康教育（性教育やヘルスサポート）を計画的に実施する予定である。う歯治療が目標の80%に届いていないので、今後も呼び掛け、治療率を向上させたい。

○防災・安全教育については、計画的に避難訓練等実施できた。また、今後は、家庭・地域と連携した取組について提案していきたい。

令和７年度　美郷町立美郷南学園　学校評価アンケート結果（４段階評価）

		評価項目	学校運営協議会委員	保護者	評価項目	子ども	評価項目	教職員
子どもに関すること	14	子どもは、笑顔で楽しく学校に通っている。	3.43	3.52	笑顔で楽しく生活を送ることができていますか。	3.66	南学園は、学園生が笑顔で楽しく学校生活を送ることのできる学校となっていますか。	3.23
	15	子どもは、夢や目標に向かって努力している。	3.14	3.19	自分で立てた夢や目標に向かって努力することができていますか。	3.39	南学園は、学園生が自分で立てた夢や目標に向かって努力できるように指導・支援を行っていると思いますか。	3.19
	16	子どもは、自分に自信をもち、自立しようとしている。	3.00	3.11	自信をもち、自分の力で粘り強く努力することができていますか。	3.28	南学園は、学園生が自信をもち、自立しようと努力できるように指導・支援を行っていると思いますか。	3.15
	17	子どもは、授業が分かり、できるようになっている。	3.21	3.09	先生は、テレビやタブレットなどをつかって、分かりやすく教えてくれますか。	3.78	あなたは、ＩＣＴ機器等を使用し、学園生が分かるできる授業を実践していますか。	3.12
	18	子どもは、自分から進んで勉強したり、間違ったところをやり直したりするなど学習習慣が身に付いている。	3.08	2.82				
	19	子どもは、進んで読書している。	2.93	2.44	進んで読書をしていますか。	2.75	南学園は、学園生が進んで読書をするように指導・支援を行っていると思いますか。	2.84
	20	自分から進んであいさつしている。	3.29	2.94	進んであいさつをしていますか。	3.62	南学園は、学園生が進んであいさつをするように指導・支援を行っていると思いますか。	2.92
	21	子どもは命を大切にして生活している。	3.43	3.33	友達と仲よくし、命を大切にして生活をしていますか。	3.66	南学園は、学園生が友達と仲良く、命を大切にして生活するように指導・支援を行っていると思いますか。	3.23
	22	子どもは、生活の中で運動する習慣が身に付いている。	3.00	3.11	毎日体を動かして運動していますか。	3.41	南学園は、学園生が毎日体を動かし、運動の習慣を身に付けるように指導・支援を行っていると思いますか。	3.04
	23	子どもは、地域で行われる行事などに参加している。	3.71	3.56	地区やいろいろな人とふれ合ったり、教えてもらったり、体験したりする活動に進んで取り組んでいますか。	3.41	南学園は、地域の人材や素材を生かした学習や体験活動を積極的に取り入れるなどふるさと学習に進んで取り組んでいると思いますか。	3.46

【学校としての取組と反省】
○各学年のキャリア教育の取組について、保護者や地域の方に目に見える形で情報発信していきたい。
○子どもが一人一人が「分かる・できる」ことが実感できるように授業改善をさらに図り、参観日や学級懇談等でその様子を発信していく。
○子どもが「やらされる」から「自分でできる」に変わったとき自分から勉強するようになるので、そのための工夫を図っていきたい。
○家庭と連携し、家読チェック表や図書祭り、本かろカーの活用を通して進んで読書に取り組む子どもや、いつどこでも誰にでも元気よく進んであいさつする子どもを育成していきたい。

令和７年度　美郷町立美郷南学園　学校評価アンケート結果（４段階評価）

		評価項目	学校運営協議会委員	保護者	評価項目	子ども	評価項目	教職員
保護者に関して	24	学校から送られてくる文書などを確実に読むようにしている。	3.00	3.37				
	25	授業参観や懇談会、ＰＴＡ活動などに積極的に取り組んでいる。	3.00	3.31				
	26	子どもとよく話をし、気になることは関係職員に相談している。	2.79	3.30				
	27	家族で読書（読み聞かせを含む）をしたり、読んだ本について話したりしている。	2.86	2.44				
	28	地域で行われる行事などに参加している。	3.57	3.38				
	29	テレビで見たり、ゲームやスマホ等のメディアを使ったりする時のきまりやルールを作っている。	2.43	2.72				
	【学校としての取組と反省】 ○メディアコントロールの必要性についての情報発信、家庭でのルールづくりと効果的な活用を家庭教育学級等を通じて示していきたい。							

【学校運営協議会委員からの意見】

（学習について）
・作文や短歌など、新聞等の公のメディアに積極的に投稿して欲しいです。子どもたちの才能の発見や自己肯定感の向上につながると思います。
（特別支援について）
・特別支援に対する理解や意識に個人差があり、抵抗感がある保護者が多い。
（健康面）
・徒歩での登校児童は良いが、バスでの通学児童生徒は運動不足が心配。
（メディアについて）
・テレビ、ゲーム、スマホ等のメディアを使うときのきまりやルールを作る際のノウハウやポイント、決めたことを守らせるためのコツを成功例、失敗例を踏まえて教えて欲しい。
・メディアに関しては、家庭でも困っている保護者も多いのでは。悪影響の具体的事例を示すなど保護者にも危機感をもたせてもらえる研修や講演会の実施
（子どもの指導について）
・学校外で会った子どもがあいさつができない。
（地域との交流について）
・運動会で禎嘉王の踊りを取り入れていただくようになって、学校と地域の連携を実感しています。特に、渡川地区では秋祭りで披露し、学校での学びが生かされていると感じました。子ども達も参加することによって郷土愛が育ち「また、帰ってきたい。」と思うようになるでしょう。
（その他）
・アンケート内容で、子どもの成長の様子15,17,18等、保護者に対し24,25,26,27等はちょっと地域関係者の答えは出しにくい（わからない）です。

令和７年度　美郷町立美郷南学園　学校評価アンケート結果（保護者からの意見）

【保護者からの意見】

（メディアについて）
・メディアの時間が曖昧てずるずるとメディアに接している。保護者の反省材料です。
・スマホの使用時間をきちんと決めていないため、週末がどうしても長くなってしまう。
（読書について）
・子どもは読書好きですが、親が読まないので読書の話になりません。子どもの読んでいる本を見るくらいです。
・読書をするのは、しなきゃいけない。と思って読んでいる感覚になっています。
・週末読書や読み聞かせ等、学校は読書の機会を増やす工夫をしてくれているのに、子の読書意欲がもう一歩である。家庭の課題としたい。
・読書は親の読書する習慣がないので、子どももしないのだと感じます。メディアのルールは作っていませんが、ある程度子ども達自身で理解していると感じています。
・読書に関して、本の借りた数が学年が上がるにつれ少なくなるのは分かります。ただ、自宅で本に親しむ環境があれば良いですが嗜好に偏りがでたり新しいジャンルの本に出会う機会を得たり、環境がない場合にはホンかろかーはご利用しているとは思いますが県立図書館のIDを県の子どもたちに配布しているようですので是非マイラインを利用してみるのも良いかと思います。紙本を手に取って読むということは欧州でも見直されているようですので、忙しい合間を作って本が読みたくなる様な出会いを幼少期に作って欲しいです。先生からのおすすめの本などもあると先生とのコミュニケーションも図れるのではないでしょうか。
（学習について）
・本人の学習意欲が低い。
・算数など、次々新しい勉強の時など、ついていけてるか不安。漢字もちゃんと覚えてないまま進んでいるような気がする。
・学習に関して、中学生の子ども小学生の子どもがいますが中学部の先生から小学生の授業を習うことでかなり授業やテストに対する意欲が高まったと感じます。また、社会科ではニュースをテレビで見ることを勧められて家族の食卓でニュースに関する会話をすることも増えました。この間は早く帰宅して国会中継を見ていました。どうしても、iPadやPCの媒体に接触する時間が多くなりがちでしたが先生からのアドバイスでテレビ媒体からの時事も見るようになったのは良いご指導をくださいました。中学生では、高校について調べる事で自分自身が行きたい場所へ行くためには学習が必要という認識をしっかりともてるようになったのは幸いです。これからも引き続きよろしくお願い致します。
（特別支援）
・特別支援教育については、正直分からない部分があります。ただ何も問題点を聞いていないので、どちらかというとこの評価とさせてもらいました。

（参観日について）
・朝霧祭を平日開催でもいいので、元の形式(全校で体育館で開催)に戻して欲しいです。小学生の発表や全体合唱、合奏も聴きたい。今の形態は、観覧者も少なく寂しい。一貫校の良さがない気がします。
（子どもの指導について）
・あいさつは出来ていないように感じる。出来る子と出来ない子がはっきりしている。
・この数年、自分の子ども以外の子の作品を見る機会が減った。
・非常に子ども達のことを考えて日頃からご指導有難う御座います。先生方が無理のない範囲で今後とも色々していただければ幸いです。先生と生徒あっての学校ですので。
・各家庭の安全面や生活習慣の基準に差があるのは当然ではあるが、子どもたち同士で安心して交流させる（遊び合う）ためには、基準となる決まりやルールを学校から家庭に啓発する必要があるのではないかと感じる。
・義務教育学校ならではの良さを活かしていて、すごく良いと思います。また、先生方が素晴らしいので、充実した学校生活が送れているように感じます。
（安全面）
・先生方は毎日業務等大変だと思います。そんな中にお願いするのは申し訳ないのですが、登校班の件で安全面を高学年だけでなく、低学年の子ども達にも周知してもらえると助かります。(集会の回数を増やして欲しい)国道沿いを歩くので、いつも気になりながら送りだしているので・・・。よろしくお願いします。
（部活動）
・部活動に関して気になるところがある。
（その他）
・幼稚園や１年生入学後、３、４年生くらいの方が朝の支度の手伝い（ランドセルから出してどこに物をしまうかなど、あと中学生が玄関で待っていて、教室まで案内してくれていた。）をしてくれていたように思うのですが、今もやっていますか？お互いいい活動だなと思っていたのでぜひ続けていただきたいです。
・子どもが複数いると回答が難しい。
・こころのケアを先生が担当する事は非常に大変だと思います。一応町にも専門員がいる様ですが、周知もすると良いかもしれません。また、定期的に専門員さんとのコミュニケーションを図ること(参加する機会が少ないですから相談回数を増やすのではなく普段の授業に参加していただく)なども子どもたちがあの先生に話してみようかなと思う一助なるのではないでしょうか。いきなり担当ですと言われても信頼ないですから話せないですよね。